PART２　単純否定・不可能

二　否定形（…基本的に直後の語から返る）

Ａ「単純否定」

①　**不・弗**＝ず／（〜**しない**）
【動作】の否定。↓直下はＶ。（＊ＡやＮを否定することもある）
（例）　不聴。　〔聴かず。〕（聴かない。）

②　**無・莫・毋・勿**＝なシ／（〜**がない**）
【存在・所有】の否定。↓直下はＮ。
Ｖの場合は連体形（＋モノ・コト）と読む。

＊「命令（禁止）文」のとき↓「**なカレ**」と読む。
（「**勿**」は禁止を表すことが多い。）

（例）　無情。　〔情け無し。〕（思いやりがない。）

＊　勿忘。　〔忘るる勿かれ。〕（忘れるな。）

③　**非・匪**＝（〜ニ）あらズ／（〜**ではない**）
【状態・内容】の否定。↓直下はN。
Vの場合は連体形（＋モノ・コト）と読む。

（例）非人也。〔　　　　〕（　　　　）

問五　「自疑非夢。」の正しい訓読を次の中から選べ。

ア　自ら夢を疑ひて非ずとす。
イ　自ら夢に非ざるかと疑ふ。
ウ　自ら夢を疑ふを非る。
エ　自ら疑ふを非りて夢みる。

B　「不可能（＝〜できない）」の形

①　**不可**Ｖ＝Ｖ〈終止形〉ベカラず（許可）

（例）不可出。〔　　　　〕（　　　　）

② **不能**Ｖ＝Ｖ〔連体形〕（コト）あたハず（能力）

（例）不能正スレ君ヲ。〔　　　　　　〕〔　　　　　　〕

③ **不得**Ｖ＝Ｖ〔連体形〕ヲえず（機会）

（例）不得謂。〔　　　　　　〕〔　　　　　　〕

注　謂…言。

問六「不得視」の解釈として最も適切なものを、次の中から選べ。

イ　たちまち消えてしまった。
ロ　見ないわけにはいかなかった。
ハ　見ることができなかった。

問七「不ルレ能ハレ得ル也。」を現代語訳せよ。

問八「竟不能帰。」をすべて平仮名で書き下し文にせよ。現代仮名遣いを用いてもよい。

問九「不レ能三与レ君陥二於難一。」を書き下し文にせよ。

〈Memo〉

第３講　PART２　確認問題

①「関をふさいで、諸侯を関の中に入れてはいけない。」という意味にするには、左の空欄にどの語をあてはめるとよいか。最も適当なものを、次の中から選べ。

距レ関［　　］レ内二諸侯一。

ア　毋　　イ　不　　ウ　且　　エ　能

②「非人之所能為也。」の書き下し文として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　人の所は非ざれば能（のう）たるなり。
イ　人の為す能（あた）ひて非ざる所なり。
ウ　人の能（よ）く為す所に非ざるなり。
エ　人の非ざれば之を為す能（あた）ふ所なり。

③　「自作 孽(わざはひ)、不レ可レ活。」の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

　注　孽…災い。「禍」と同じ。

ア　自分でなした災いは、のがれて助からないわけにはいかない。
イ　自分でなした災いは、のがれて助かることはできない。
ウ　自分でなした災いは、のがれて助からないこともない。
エ　自分でなした災いは、のがれて助かるすべがない。

④　「懐二佳人一兮不レ能レ忘。」の読み方として最も適当なものを、次の中から選べ。

　注　兮…置き字

ア　わするることよくせざるかじんをおもふ。
イ　かじんをおもひてよくわすれず。
ウ　わするるあたはざるかじんをおもふ。
エ　かじんをおもひてわするるあたはず。

⑤　「非二有レ詔召一、不レ得レ上。」の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　詔によって召されることを非難し、決して殿上に上らなかった。
イ　詔によって召されるのでなければ、殿上に上ることはできなかった。
ウ　詔によって召されることを非難し、殿上に上ろうとはしなかった。
エ　詔によって召されるのでなければ、殿上に上れないこともなかった。

第３講　PART2　解答

二
A　③〔人に非ざるなり。〕（人ではないのである。）
B　①〔出づべからず。〕（出ることができない。）
　　②〔君を正す能はず。〕（君主を正すことができない。）
　　③〔謂ふを得ず。〕（言うことができない。）

問五　イ

問六　ハ

問七　得ることができないのである。

問八　つい〔ひ〕にかえ〔へ〕る（こと）あたわ〔は〕ず。

問九　君と難に陥る（こと）能わ〔は〕ず。

第3講　PART2　確認問題　解答

〔解説〕

① 「〜するな」「〜してはいけない」という禁止の意味を表すのは「無・莫・毋・勿」で、「なカレ」と読む。書き下すと、「関(くわん)を距(ふさ)ぎて諸侯を内(い)るること毋(な)かれ。」となる。よって、アが正解。

② 選択肢を一つずつ確認する。アは文意が通らない。イは直下（返ってくる語）はN、またはVの場合は連体形（＋モノ・コト）なので不適。ウは「人が行えることではないのだ」となり、文意が通る。エは目的語「之」がこの位置では成立しない。よって、ウが正解。

③ 「不レ可レV」は「Vべカラず」と読み、「Vできない」という意味。よって、イが正解。

④ 返り点に従って読むと「佳人(かじん)を懐(おも)ひて」が先にくるので、イかエ。「不レ能レ忘」の返り点に従うと、「よくわすれず」とは読めない。「わするるあたはず」と読み、「忘れることができない」という意味。よって、エが正解。

⑤ 「不レ得レV」は「Vヲえず」と読み、「Vできない」という意味。書き下すと、「詔(みことのり)有りて召すに非(あら)ざれば、上(のぼ)るを得ず。」となる。よって、イが正解。

〔解答〕

① ア　② ウ　③ イ　④ エ　⑤ イ